

活動名	ふなっこ未来大学「小さな科学者の大きな挑戦 ロケット飛翔教室」
-----	---------------------------------

貢献・連携類型	1. 地域連携・協力
---------	------------

報告者	航空宇宙工学科	学科	職位	教授	氏名	高橋 賢一
-----	---------	----	----	----	----	-------

概要（実施したこと、進捗状況等）について記述してください。

「ふなっこ未来大学」とは、船橋市が市内の理系大学と協力して市内在住の子どもたちに実験教室などの機会を提供する事業のことです。日本大学理工学部は、令和5年より船橋市と包括連携協定を結んでおり、その協定に基づいて本事業に協力することとなりました。

本活動は、地域の教育に貢献し、大学での教育・研究活動の理解を促進することを目的としています。また、宇宙開発で重要な役割を担うロケットについて理解を深めてもらい、理工学への興味を持たせることで、本学部への入学希望者の増加も期待しています。実際に、通常大学1年生向けに行っている講座を簡略化し、実施しました。

今後の展望、本活動で得られた成果を記述してください。

募集の段階で参加希望者が定員の約5倍となりました。本学部は本事業に今年から参画しておりますが、これは前年の実績より大幅に増加したとのことでした。また、本学部学生が積極的に参加したことで、学生と地域住民（小学生及びその保護者）との新たな交流の場が生まれ、学生にとっても大きな成長の機会となりました。

また、船橋市からは来年度の開催も依頼され、今回は大幅に受け入れ人数を増やすこととなりました。

対象・相手先	対象：船橋市在住の 小学4～6年生61名 相手先：船橋市教育委員会
--------	---

協定書・依頼の有無（具体的に記入）	船橋市と日本大学理工学部との包括連携協定
-------------------	----------------------

実施日時	令和6年9月19日～9月20日 10時～16時
------	----------------------------

場所	理工学部船橋校舎14号館教室 及び交通総合試験路
----	-----------------------------



本学からの参加者
航空宇宙工学科 教授 高橋賢一
未来博士工房及び日大ロケット研究会の学生9名

